

常陸大宮市

題目	持続可能な社会に向けた取組のひとつとして、有機農業を推進します。 ～常陸大宮市「有機農業推進」表明～
内 容	<p>【表明の趣旨】</p> <p>本市では、「持続可能な社会の実現」に向けた取組を図るとともに、付加価値を高めた農産物生産の取組を進めることにより「農業の振興」を図るため、有機農業を推進することとし、「常陸大宮市有機農業推進計画」を策定します。</p> <p>この計画は、本市における有機農業推進にあたり、農業者をはじめ、消費者や流通・販売団体、関係機関等と連携して有機農業を推進するため、有機農業の現状や課題等を明らかにしたうえで、有機農業に関する受入れ体制の整備や定着、拡大に向けた支援など、有機農業の取組推進を図るとともに、新規就農者の増加や、教育及び福祉などとの連携、さらには、将来的な常陸大宮市における交流人口の増加、企業及び子育て世代等の呼び込みに向けた取組の観点や方向性も視野に入れた計画とする予定です。</p> <p>具体的には、今後、関係者へのアンケート実施や、有識者を構成員とした計画策定委員会を設置するとともに、まとめ次第、市議会への説明や、市民へのパブリックコメントの実施を経て、最終的な計画策定を予定しております。</p> <p>今回、事務局におきまして、計画の素案が出来ましたので、今後の具体的な検討を始める前に、市の取組に関する考え方や姿勢を幅広くお知らせするために、素案ではありますが取組を公表するものであります。</p> <p>なお、現在、三美地区において、有機農業の取組推進を図るとともに、先日、全国組織である「有機農業と地域振興を考える自治体ネットワーク」に加入したところであり、実効性のある「推進計画」となるように策定に向けた検討を進めていきたいと考えております。</p>
問合せ先	産業観光部農林振興課農業畜産グループ 電話 0295-52-1111（内線 206）

ー 常陸大宮市「有機農業推進計画」ー

持続可能な社会に向けた取組のひとつとして、有機農業を推進します
～「有機農業推進の表明」～

- 有機農業に関する多様な農業者の考え方を尊重し、多様な環境に配慮した農業の取組を支援します。
- 有機農業への新規取組を支援するとともに、既存における取組の継続・拡大について推進を図ります。
- モデル地区を設定し重点的に支援するとともに、ネットワークの構築等により、全域に取組を拡大します。

◇ 有機農業者等の育成・定着支援

- ・ 市内への新規参入者への支援(農地・住宅に関する情報提供)
- ・ 有機農業に必要な機械・施設の整備支援(補助事業の活用等)

*モデル地区設定により、重点的に支援
→ネットワーク等の構築により、取組の拡大

◇ 有機農業に関する技術的な支援

- ・ 耕畜連携の取組による堆肥供給、土壌診断に基づく土づくり
- ・ 有機農業に関する研修会、栽培技術に関する講習会等
- ・ 有機農業者等との意見交換会、研修受け入れ先の情報提供

*本市における立地条件等に適した栽培技術の支援

◇ 有機農産物の流通・消費の促進

- ・ 道の駅 常陸大宮「かわプラザ」、各農産物直売所、市内飲食店での有機農産物の活用、取扱店・取扱量の拡大の推進
- ・ マップ作成等により、消費者が購入しやすい仕組みづくり推進
- ・ 「食育」「地産地消」の推進による学校給食等における消費拡大

*関係機関が連携・協力した販売促進・消費拡大

◇ 有機農業に対する理解の促進

- ・ 生産者と消費者の交流会、料理教室、各種イベントの開催等
- ・ 学校教育における児童・生徒に対する食育、農業体験学習
- ・ 豊かな自然環境を背景とした市外の住民との交流の促進等

*農業の生産振興+加工や飲食(オーガニックレストラン)等、地域活性化を含め幅広い取組の展開を促進

□有機農業とは、化学的に合成された肥料及び農薬を使用しないこと並びに遺伝子組換え技術を利用しないことを基本として、農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減した農業生産の方法を用いて行われる農業

□常陸大宮市 三美地区
<畑地整備:約32ha>
・農地の集積・集約化
・高付加価値な園芸作物
(→有機栽培のモデル団地)

□有機農業の取組推進に関連した将来的展望
・交流人口等の呼び込み
→交流拠点(オーガニック、グリーンツーリズム等)
・企業や子育て世代等の呼び込み
→持続社会取組地域へ立地、健康志向から移住等



(有機野菜の収穫体験)

○表明の目的(趣旨):市における取組の方向性を示すことにより、「関係者の理解と協力」、「市民の参画と協働」、「対外的な呼び込み」等を積極的に促進するもの

常陸大宮市「有機農業推進計画」策定の背景等

□ 時代背景等 ～ 社会的取組、動向 ～

- 平成18年「有機農業の推進に関する法律」
→環境と調和のとれた農業生産、消費者の安全、良質な農産物ニーズへの対応
- 平成26年「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」
→生物多様性の保全など多面的機能の向上
- 令和3年「みどりの食料システム戦略」
→農業の環境負荷軽減と生産基盤強化

- 平成27年 国連サミットで採択「SDGs(持続可能な開発目標)」
<農林水産省>
→持続可能な農業の推進
・環境保全型農業の拡大
(有機農業の取組推進)



- 常陸大宮市として、社会的な課題の解消に向けた取組を、率先して展開します。
- 併せて、中山間地域等における農業の振興(付加価値等のある農産物の生産)を図ります。
- 具体的には、「常陸大宮市有機農業推進計画」を策定するとともに、関係機関との連携、市民の参画等を図りながら進めてまいります。

「有機農業推進の表明」

□ 消費者、社会意識の変化等 ～ 求めるもの(トレンド) ～

□ 高級なものを求める

□ 見た目(色、形、大きさ)で求める

□ 安全・安心なものを求める

□ 楽しいものを求める

□ 美味しいものを求める

□ 持続的なものを求める
(環境保全への取組を求める)

□ 安価なものを求める

□ 希少なものを求める



□ 農業生産の形態等 (イメージ図)

◇ 慣行栽培

(◇ 環境保全型農業) *市における取組推進

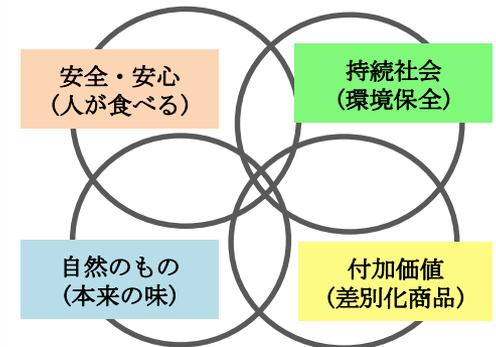
◇ 特別栽培

- ・地域の慣行レベルと比較して、化学合成農薬の使用回数が50%以下、かつ化学肥料の窒素分量が50%以下で栽培

◇ 有機農業

- ・化学的に合成された肥料及び農薬を使用しない等

■ 有機農業の多様な取組への支援



常陸大宮市「有機農業推進計画」策定スケジュール

- 事務局における「有機農業の取組推進」に関する整理等
- 国や県等における有機農業の取組に関する動向
 - 他市における「有機農業推進計画」の状況
 - 常陸大宮市における現状と課題等



- 事務局における「常陸大宮市『有機農業推進計画（素案）』」の作成
- 計画策定の趣旨、推進計画の位置づけ
 - 有機農業の現状と課題
 - 有機農業推進の基本的な考え方
 - 有機農業推進に向けた各種の方策
 - 計画の推進体制

「有機農業推進の表明」

◇ 表明することにより、取組（素案）の方向性を事前に公表することで、今後、幅広く意見を求めるとともに、市外も含め、常陸大宮市への参入等を積極的に働きかけるもの



各方面へのアンケート調査の実施（素案に関する意見→「計画」への反映等）

農家へのアンケート
(農家全般を対象)

消費者へのアンケート
(市民を対象)

流通機関へのアンケート
(販売・流通関係を対象)



- 事務局における「常陸大宮市『有機農業推進計画（案）』」の作成
- アンケート結果に基づく、素案の修正等



— 計画策定に向けた手続き関係 —

● 検討会を開催
(各分野の有識者等)

⇒ ● 市議会への内容説明等
(市計画に対する意見等)

⇒ ● パブリックコメントの実施
(幅広い意見の反映等)



「常陸大宮市 有機農業推進計画」策定

有機農業と地域振興を考える自治体ネットワーク 会員名簿

(令和3年9月10日時点)

<敬称略>

市町村会員

青森県	黒石市長	高樋	憲
山形県	川西町長	原田	俊二
山形県	鶴岡市長	皆川	治
福島県	磐梯町	佐藤	淳一
茨城県	常陸大宮市長	鈴木	定幸
栃木県	小山市長	浅野	正富
埼玉県	小川町長	松本	恒夫
千葉県	いすみ市長	太田	洋
千葉県	木更津市長	渡辺	芳邦
千葉県	山武市長	松下	浩明
千葉県	匝瑳市長	太田	安規
長野県	松川町長	宮下	智博
長野県	飯田市長	佐藤	健
福井県	池田町長	杉本	博文
岐阜県	白川町長	横家	敏昭
愛知県	東郷町長	井俣	憲治
愛知県	南知多町長	石黒	和彦
京都府	亀岡市長	桂川	孝裕
兵庫県	市川町長	岩見	武三
兵庫県	丹波市長	林	時彦
島根県	江津市長	山下	修
広島県	東広島市長	高垣	廣徳
山口県	宇部市長	篠崎	圭二
徳島県	小松島市長	中山	俊雄
長崎県	南島原市長	松本	政博
熊本県	山都町長	梅田	穰
大分県	臼杵市長	中野	五郎
大分県	佐伯市長	田中	利明
宮崎県	綾町長	糴田	学
宮崎県	木城町長	半渡	英俊
宮崎県	高鍋町長	黒木	敏之